

ブナの木や学んだこと

S . H

私は今までの自然体験学習で調べてきたことは、倒木更新についてです。
ほかにも、木の病気やブナについてなども調べてきました。

倒木更新とは、倒木上に更新する特性を持っています。
寿命や天災、伐採等によって倒れた古木を礎にして新たな世代の木が育つことです。
倒木更新をする主な木は、ブナ、エゾマツ、トドマツ、スギ、ヒノキ、などの木で見ることが出来ます。

ブナの木は、成長すると根から毒素を出していき周りのブナの中で、1番元気なブナだけが残り、周りのブナは枯れてしまいます。
木が病気にかかるのは、葉の表面についた菌が直接葉の表面を酵素、あるいは毒素を出して表皮を破って中に入っていく場合の2つがおもな病気のかかり方です。
このような木について、今までの自然体験学習で調べてきました。

自然体験学習1日目では、今まで調べてきて、知りたかったことなどを、ネイチャーガイドの方に教えてもらいながらブナ林へ行きました。ブナ林は森の奥へ行かなければいけないので、それまでは、たくさんの植物などを見ることが出来ました。
森の中は空気がとてもきれいで気持ちよかったです。

ネイチャーガイドの方から、熊が出るかもしれないと聞き、とても不安でした。
熊は見ませんでしたが、「けもの道」というものが見られました。
「けもの道」は、熊が通った後で、植物などが踏まれた跡のような所です。
たくさんの「けもの道」を見ました。たくさんあって、「けもの道」を熊が通っていたと思うと、少し怖かったです。

ブナ林に入ると、たくさんのブナがあり、小さい木から大きい木までありました。
しかし、たくさん木があると木同士が近くなり、葉で光が当たらなくなってしまったりして、小さな木などが育たなかったり、元気な木でも木同士が近いと、どれかの木が光に当たらなくなってしまい、枯れてしまうそうです。そのため、芽が出たばかりの木でも、大きくなれない木もあるそうです。

ブナ林に入ってから、たくさんのブナの赤ちゃんを見ることができました。でも、ブナの赤ちゃん同士がとても近くにあり、たくさんのブナがあってもその中の1、2本しか大きくなれないのだろうなと思うと、せっかく芽が出たのにかわいそうだなと思ったりしました。



↑この写真は倒木更新を起こした木の根です。

私が調べた倒木更新を見ることができました。

1つは、倒れた木の上に、芽を出していて、もう少し経ったら、倒木更新になるような木を見ました。もう1つは、下の木がすでに枯れてなくなっていて、穴があいたような木になっていたものを見ました。調べたことが実際に見られてよかったです。

森から出る水は「森のダム」と呼ばれ、50年くらい前に降った雨が森の中できれいになり、今になって川のように流れて出てくるそうです。森の中で水がたまっているのが「森のダム」と呼ばれるそうです。

植物のほかにも、熊やリスなどが食べるものや、熊の爪痕などを見せてもらいました。

枝からいいにおいのする木があり、枝のにおいをかがせてもらいました。とてもいいにおいで、ずっとかいでいました。

ブナの木はとても長く生きているそうです。

私の行ったブナ林は、10年から50年しか生きていない木ばかりだそうです。

私が1日目にお世話になった橋口先生はブナの木を見ただけで何年生きているかどうかす

ぐに分かっていて、すぐにわかるのはすごいと思いました。

私が行った森では、1番はじめに紅葉する葉っぱが少し赤くなっていました。森の中を歩いていると、種がジャージにくっついていて虫かと思ってびっくりしたけれど、種だったのでよかったです。

ジャージについた種は、何かにくっつくことによって運んでもらい、いろんなところで育つそうです。

他にもいろんなものにくっついて種を運ぶもの、タンポポの種のように飛んで種を運ぶものなど、いろいろな種の種類があります。

1日目には私の知りたかったことなどがたくさんわかったので、よかったと思います。とてもいい勉強になりました。

2日目の全日コースでは、磐梯山に登る予定でしたが、連日の雨で雄国沼～雄国山頂へとコースが変更されました。

磐梯山に登れなくなってしまったけれど、雄国山頂を目指して頑張ろうと思いました。

森に入ってから、木の根や石がたくさんあって歩くのがとても大変でした。

登山道などは、人がたくさん歩くために土が硬くなってしまおうそうです。

雄国沼を目指すのに、ブナ林に入りました。そこには、ブナの赤ちゃんがたくさん芽を出していました。ブナの赤ちゃんを2度も見られたのでよかったです。

登山道には、近道ができそうな道がありました。でも、登山客が近道をしないように、黄色と黒のしましまのロープが張ってありました。このようなことをしなくては森を守れないのだなと思いました。森を守るのは、とても大変なことなのだと全日コースを歩いたおかげでわかりました。

歩いている最中には、大きなブナの木があり、見た瞬間に「うわあー」と感じました。とても長く生きているのだらうなと思いました。長く生きているので普通の木より、早く枯れてしまうと思うので、太い木がなくなってしまうのはとてももったいないと思いました。でも、太い木がなくなると周りに光が入り地面に光があたって、周りの木が生長しやすくなるので、どんどん入れ替わっていくのはいいことなのではないのかなと思いました。

ブナ林は、どんどん周りに広がっていると聞きました。ブナ林が広がっているということは、ブナ林がどんどん入れ替わって新しい木の芽がどんどん出てくるということなので、とても感動しました。

途中で雨が降ったりして、傘をさしながら歩いたので、大変でした。地面も濡れていて、とても歩きづらかったけど、頑張れたのでよかったです。

雄国沼に行くと、とても風が冷たく気持ちのいい風でした。草や花があってとても気持ちよく歩きました。

雄国沼の後には、休憩をして雄国山頂に行くことになりました。山頂に行くまでは、とても急な坂があったりして、大変でした。急な階段があったり、転びそうになったりして大変でしたが、山頂に着くととても景色がきれいで空気もとてもきれいに感じられました。

山頂に着くまではとても大変だったので、山頂に着くととても達成感が味わえました。

きれいな景色を見たり、自分で調べたりしたことが、実際に見られたりしてとてもよかったです。

1日目には、私が調べていて疑問に思っていたこと、実際に見たかったものなどを、ネイチャーガイドの方が教えてくれたり見せてくれたりしてくださったので、とてもいい勉強になりました。

2日目には、山頂を目指すのにとっても大変だったけれど景色なども見られたりして、よかったと思います。

自然体験学習で学んだことが、たくさんあります。今回の自然体験学習で、自然は守らなくてはいけないのだと改めて思いました。自然を守ることは、とても大変なことだけれど、私にできる小さなことでも、手助けになればいいなと思います。

なので、私にできることを探してできることを増やせばいいなと思います。

震災のこともあって行けるかどうか不安だったけれど、自然体験学習ができてとてもよかったと思います。

今まで調べたりすることは大変だったけれど、とてもいい体験もできたし、いい勉強にもなったので、よかったです。